


日時 2018年2月25日(日)10:00~19:00 開場9:00
会場 法政大学市ヶ谷キャンパス外濠校舎7階
主催 藤塚(きつた)ホール(東京都千代田区富士見2-17-1)
法政大学江戸東京研究センター
入場無料 同時通訳(日本語/英語)
参加申込 当センターのホームページ、もしくは下記URLの
申込専用フォームからお申込みください。
URL <https://www.event-u.jp/m/10867>
QRコード 
ホームページ <https://edotokyo.hosei.ac.jp>
問合せ先 法政大学江戸東京研究センター事務局
E-mail edotokyo-jimu@ml.hosei.ac.jp TEL 03-3264-9682

ETOS



日本が成熟社会を迎えた1980年代、東京でも都市の個性、文化的アイデンティティを求める気運とともに、江戸東京の歴史への関心が高まり、「江戸東京学」が生まれ、広がりを見せた。海外の人々も、それまでの世界の都市モデルとされてきた西洋の都市とは異なる独特の姿、仕組みをもち、ポストモダンの価値観とも合致する東京に、大きな関心を向け始めた。

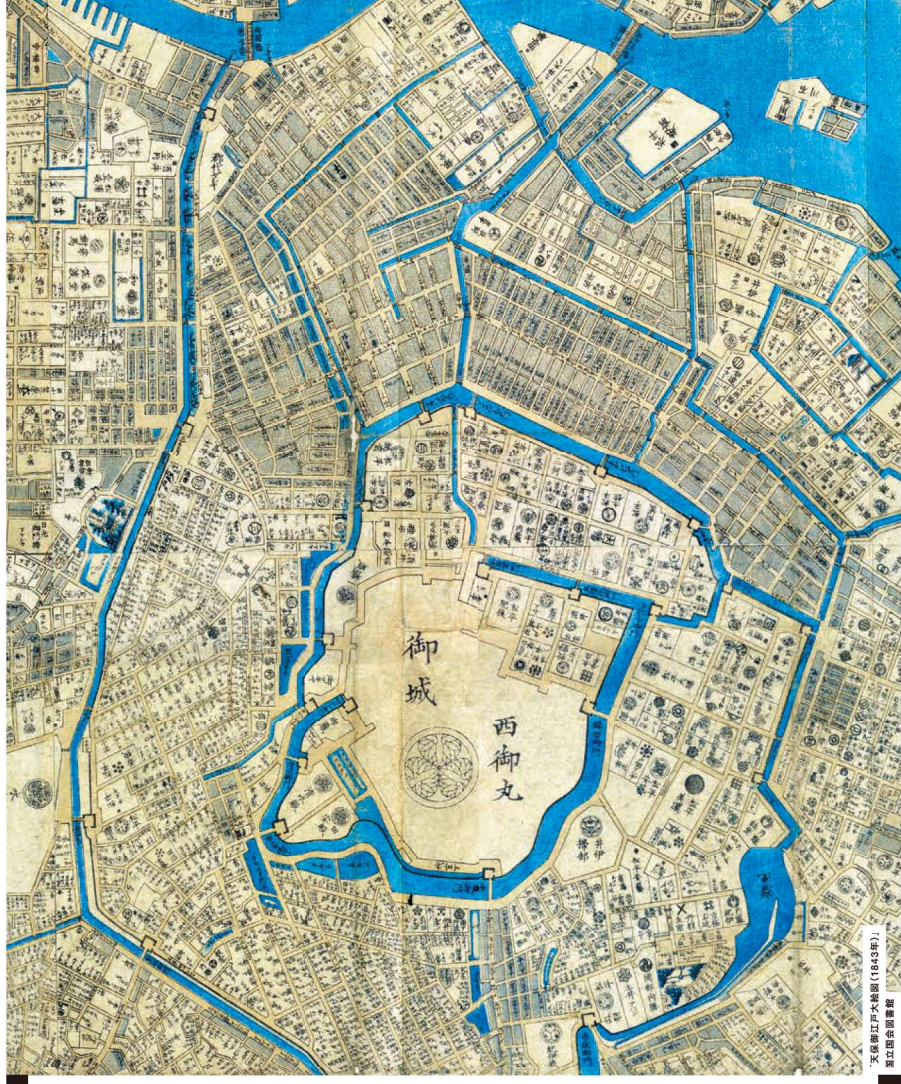
その後、日本は人口減少、高齢化社会の状況を迎え、従来の高度成長型の開発志向の強い都市の在り方に関しては、価値観の大きな転換が必要となってきた。

そして今、益々強まるグローバル化の進展に対し固有の文化力を発揮するためにも、また、大きな課題である持続可能な地球社会を実現するためにも、江戸を下敷きにする独自の歴史に裏打ちされた東京らしい都市の近未来像を描くことが求められている。

こうした状況の下、江戸東京研究の先端的・学際的拠点として、法政大学に「江戸東京研究センター」が設立された。本学には、日本文化の特質に関し国際的共同研究を積み重ねてきた「国際日本学研究所」と、東京の都市の特徴を歴史とエコロジーの立場から国際的に比較研究してきた「エコ地域デザイン研究センター」によるこの分野の大きな研究蓄積がある。これら2つの研究組織が協同し、「江戸東京研究センター」が誕生した。1980年代に生まれ、やや停滞気味だった従来の「江戸東京学」を現代的視点で乗り越え、都市東京のユニークな特質を生み出す基層構造をハードとソフトの両面から解き明かし、西洋型の都市モデルとは異なる、21世紀に相応しい都市の在り方を研究していく。

「江戸東京研究センター」の設立を記念して開催されるこの国際シンポジウムでは、国内外の様々な分野の専門家・論者とともに、江戸東京の歴史から学び、そこに蓄積された知恵、資産の価値を新たな視点で掘り起こし、日本発の近未来都市像を描き出すことを目指したい。

陣内秀信 (法政大学江戸東京研究センター長)



江戸東京研究センター設立記念国際シンポジウム 新・江戸東京研究 ～近代を相対化する都市の未来～

2018/02/25 [日] 10:00-19:00
法政大学市ヶ谷キャンパス外濠校舎7階 藤塚(きつた)ホール
主催:法政大学江戸東京研究センター

午前の部 10:00-12:00

陣内秀信 (法政大学江戸東京研究センター長) 新・江戸東京研究の展望

榎文彦 (建築家) 基調講演 ヒューマンズムの建築を目指して

川田順造 (人類学者) 基調講演 「川向こう」をめぐる断想

午後の部 13:00-19:00

Session 1 江戸東京のモデルニテの姿 — 自然・身体・文化 —

チエリイ・オケ (哲学/パリ・ナンテール大学)

ローザ・カローリ (日本学/ヴェネツィア大学)

安孫子 信 (哲学/法政大学) モデレーター

Session 2 江戸東京の巨制的コンセプト Post-Western/Non-Western

パオロ・チエツカレツリ (都市計画/フェラーラ大学)

ロレーナ・アレッシオ (建築/トリノ工科大学)

ホルヘ・アルマザン (建築/ラプラタ工科大学)

北山 恒 (建築/法政大学) モデレーター

Session 3 水都の再評価と再生を可能にする哲学と戦略

リチャード・ペンダー (都市計画/建築/カリフォルニア大学バークレー校)

アントネット・ポアツティ (都市計画/ミラノ工科大学)

高村雅彦 (都市建築史/法政大学)

陣内秀信 モデレーター

文部科学省補助金 平成29年度「私立大学研究ブランディング事業」(法政大学)

NEW EDO-TOKYO RESEARCH RELATIVIZING MODERNITY FOR REDEFINING THE FUTURE OF CITIES

10:00-10:20

新・江戸東京研究の展望



陣内秀信 Hidenobu Jimnai 法政大学江戸東京研究センター長
1947年、福岡生まれ。東京大学工学部建築学専攻卒業。イタリア政府給費留学生として...

10:20-11:10

ヒューマニズムの建築を目指して



横文彦 Fumihiko Maki 建築家
1926年、東京生まれ。1952年、東京大学工学部建築学専攻卒業。アメリカのクララブルック美術...

11:00-12:00

「川向こう」をめぐる断想



川田順造 Junzo Kawada 人類学者
1934年、東京生まれ。東京大学教養学部教職課程(文化人類学専攻)卒業。パリ第五大学地理学...

13:00-14:50

江戸東京のモダニティの姿 - 自然・身体・文化 -

既に江戸後期から、そしてとりわけ明治維新以降に、江戸東京を決定的に性格づけているのは...



チエリール・オク Thierry Hoquet 哲学(生物学的哲学)/パリ、ナンテール大学
1975年生まれ。リヨン第3大学を経て2016年よりパリ・ナンテール大学教授。生物学の哲学を...



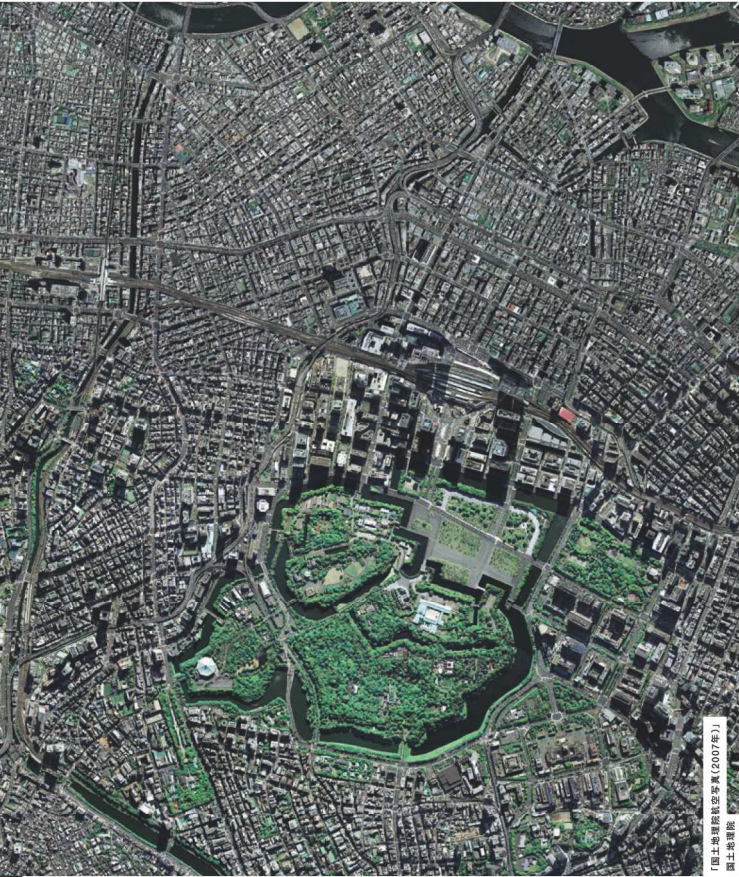
ローザ・カローリ Rosa Caroll 日本文学(文化史・社会史)/ヴェネツィア大学
ヴェネツィア大学言語学、比較文化学部教授。専門は日本近現代史で、日本の近代国家の進化を...



安孫子 信 Shin Aikiko [モテレーター] 哲学/法政大学
1951年北海道生まれ。専門はフランス哲学、フランス思想史。京大大学院修了。1996年より...



【多摩川を渡る江戸】五十分一東京図説(1864年) (一昨)日本地理センター



【地上と地下】現代東京(2007年) 国土交通省建設省

15:00-16:50

Session 2 江戸東京の巨視的コンセプト Post-Western/Non-Western

明治維新は日本という国家のシステムをヨーロッパ文明の社会システムに切り替えた切断面であり...



パオロ・チエツコ Paol Ceccarelli 都市計画/フェラーラ大学
フラーラ大学建築科、ユネスコ特種可能な遺産のための都市・地域計画講座、地中海ユネスコ...



ロレーナ・アレッシオ Lorena Alessio 建築/トリノ工科大学
ローナー・アレッシオ・アンダーテイ代表。トリノ工科大学卒業後、1978年ワウー・タン設立(共同...



ホルヘ・アルマザン Jorge Almazan 建築/慶應義塾大学
建築家、慶應義塾大学准教授。マドリッド工科大学を卒業後、2007年に東京工業大学で博士...



北山 恒 Koh Kitayama [モテレーター] 建築/法政大学
1950年、香川生まれ。横浜国立大学大学院修士課程修了。1978年ワウー・タン設立(共同...

17:00-18:50

Session 3 水都の再評価と再生を可能にする哲学と戦略

世界のどの国、どの地域でも、都市は水と密接に結び付いて形成され、発展した。特に、江戸東京は...



リチャード・ベンダー Richard Bender 都市計画・建築/カリフォルニア大学バークレー校
1930年、ニューヨーク生まれ。カリフォルニア大学バークレー校環境デザイン学部名誉学部長。...



アントネット・ボアッティ Antonello Boatti 都市計画/ミラノ工科大学
1948年、ミラノ生まれ。ミラノ工科大学建築学部准教授。都市環境の保護と価値向上を専門とし...



高村雅彦 Masahiko Takamura 都市建築史/法政大学
1964年、北海道生まれ。法政大学大学院博士課程修了。2008年より法政大学建築学専攻教授。...

陣内秀信 [モテレーター]

18:50-19:00 シンポジウム総括 陣内秀信